

## 第4回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）会議録

○日 時 令和2年12月21日（月） 19時00分～20時20分

○場 所 三浦市民交流センター 研修室

### ○次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 審議事項

議 案9 第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）会議録の承認に  
ついて

(2) 意見交換

意見交換2 今後の地域協議について

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（11名）

座長	後藤 克幸	座長職務代理者	札内 尚	委員	香山 賢一郎
委員	青木 広美	委員	内騰 幸成	委員	小川 哲男
委員	杉田 理佳	委員	出口 悟	委員	山田 光雄
委員	柴谷 肇	委員	伊藤 修也		

○事務局（4名）

君島 篤	教育部長	増井 直樹	教育総務課長
矢尾板 昌克	政策部政策課長	長島 正紀	教育総務課 GL

◇座長 皆さんこんばんは。それでは三崎地区の第4回三浦市学校教育ビジョン地域協議会を開催いたします。

早速、議事に入ります。

はじめに議案9「第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）会議録の承認について」を議題といたします。

会議録につきましてはすでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまのご意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

（特に発言なし）

◇座長 ないようですので、それではお諮りします。「議案第9号 第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）会議録の承認について」は原案のとおりとすることにご異議ございませんか

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

◇座長 続きまして、意見交換に入りますが、今後の地域協議について、に入る前に前回の協議会以降の説明会などについての報告が事務局よりありますので、お願いします。

◇事務局 ご報告いたします。前回の地域協議会以降説明会といたしまして数回、行っております。今日までに、予定していない初声小学校を除く7校の小学校に1回は説明会を行いました。また、三浦市内の幼稚園、保育園には二葉保育園で開催をさせていただきました。残りは、三浦幼稚園、初声保育園、城ヶ島保育園で説明会を開催予定です。三浦幼稚園は年明けの開催に向けて調整しています。

説明会でいただいたご質問やご意見などは、今までこの地域協議会のなかでご報告した内容と同様なものでした。

その他、12月に市議会が開催され学校統合に関する陳情書が市内の会社役員の方から提出され、慎重な対応を求める陳情がなされたところです。それに対し、三浦市教育委員会としては、三浦市学校教育ビジョンを実現できるよう取り組んでいますが、スケジュールに関しては柔軟に対応し、是が非でも令和7年度に固執する考えではないことをお伝えしました。また、市民意見の聴取についても努力をしていきたいとお話ししました。

その他、本日、お手元に12月18日付で、当協議会あてに「名向小学校の存続を求め

る会」というところから要望書をいただいています。先週の金曜日にいただいたもので、まだ、内容についての精査も事務局の見解もまとまっておりません。よって、本日は委員の皆さんに要望書のご紹介に留めたいと思っています。今後、要望書の取り扱い、事務局の考えなどをご説明したいと考えています。

最後にお手元に A3 版両面カラー印刷のリーフレットを配布いたしました。こちらは、カラーコピーですが、実物は上質で光沢の用紙を用いています。前回、三崎地区の地域協議会において、広報を努力すべき旨のお話もいただいていることから、来年 1 月号の三浦市民と合わせて全戸へ配布いたします。現在、リーフレットを印刷中であり 1 月の配布に間に合う予定です。このリーフレットは簡潔に分かりやすく三浦市学校教育ビジョンについて示したつもりであります。参考までにご覧いただければと思います。

事務局からの報告は以上です。

◇座長 いまの報告についてご質問等ございますか。

◇委員 まず、各学校での説明会の参加者は何人ですか。

◇事務局 11 月 18 日（水）、20 日（金）の 椿の御所保育園では保護者と同時開催したため 41 人、11 月 27 日（金）の油壺幼稚園では 5 人、12 月 5 日（土）の南下浦小学校では 6 人、12 月 12 日（土）の旭小学校では 9 人、12 月 15 日（火）の二葉保育園では 9 人です。

◇委員 その結果から、保護者を対象にした説明会にしても、参加者が非常に少ないです。以前も話にあがりましたが、一つは、在校生は卒業してしまえば関係ないと思っている人もいます。逆に幼稚園の説明会は参加者が多いです。それでも、例えば南下浦小学校の説明会が神奈川新聞に載っていますが、三浦市教育委員会と保護者との考え方のギャップが大きくあると書いてあります。記事をお読みになっていると思いますが、ギャップについて、また、三浦市議会の中で市長が回答していますよね。まず、疑問に対して速やかに回答する、課題解決策を提示する。その他、三浦市議会へ陳情書がでていきます。最後には教育部長が市民アンケートを取っても良いという旨の回答をしていますね。これは記事に出ています。先程、やっていきたいと言っていました、いつやるのですか。このことについては、最初の地域協議会が始まったころから、この問題が出てくることが分かっている、何回かお聞きしましたよね。特に通学の問題、前回のときに京浜急行バスと話をしていると言っていました全然、話が進んでいないのと同じことだと思います。それで住民を納得させること自体が難しいと思います。いつまでの期間で検討されているか分かりませんが。それでいながら、令和 3 年 1 月にはチラシを配りますとか、統合ありきで話が進んでしまっているのです。不自然だと思いませんか。

◇事務局 三浦市教育委員会としては昨年 8 月に公表した三浦市学校教育ビジョンが今、取り組める最善の策という考えをもとに、地域協議会の委員の皆様を含めまして、保護者向けの説明会、地域の説明会などの取り組みを行ってきています。そして、市議会で

の答弁において、課題解決策を提示するという答弁をしております。また市民アンケートについても必要が生じ、必要な時期にすれば実施する考えがあること答弁をしております。これらと、先程、お話がありました保護者との意見にギャップがあるだろうとご意見をいただきました。課題解決策につきましては、地域協議会でご議論していただいておりますが、それと並行して全ての課題に対して網羅的に抽出することは難しいです。しかし、これまで保護者説明会のなかでも疑問点、ご意見もいただいております。それに対する一定程度の解決策を提示していくよう、前倒しをして取り組んでいきたいと考えております。勿論、従前から安心、安全な通学を保証するのか検討はしています。ご指摘のとおり、何もやっていないということもありましたが、不十分であるということは改めてご意見をいただいたということで、1日でも早く一歩でも進め、解決策を提示できるようにしたいと考えています。ただし、最終的に何処どの学校と決まりませんと学校によって個別の通学については代替策、支援策などが違ってきますので、一般論的な部分も含めて解決策の一部でも提示する努力をしていきたいと思っております。

市民アンケートにつきましては、地域協議会も含めて三浦市学校教育ビジョンの検討を進めていくなかで、必要な時期に行いたいと思っておりますが、今の時点では市民アンケートの実施時期について明確に答えられる状況にはなっていません。この部分については申し訳ありません。

ギャップについて、特に通学の不安については埋め、ご理解をいただけるよう努力しなければなりません。

◇委員 最初で違っているところは、学校を統合する、だから不安材料がでていることです。統合しないということであれば不安材料ではなくて、今の状況下でどのようにして三浦市学校教育ビジョンにある教育の目指すところを実現するか、その部分が何もありません。ですからギャップの前段階です。今言ったギャップというのは統合ありきで述べてしまっていることです。だから、最初の地域協議会でも話しましたが、市民に情報を流しましょう、情報が流れてないから余計に不安材料が出てきてしまっています。だから地域協議会ニュース第3号の南下浦の方ですよ、新聞では「住民としては不安」であり、ところが地域協議会では「しょうがないじゃないか」という答えになっています。それは保護者の方だけに配られて、卒業する人がいれば意見としてはしょうがないなとなります。ところがそれを取り巻く住民たちの考えが入ってきていません。ですから、そういう意味で言うと市民に一層、情報を流すと同時に今ある形でどうやったらうまくいくか、という検討をなぜしないのでしょうか。先程、三浦市教育委員会は三浦市学校教育ビジョンが最良の方策だといっているのですが、少人数でやった方が、メリットがあると言ったときに、それを三崎の各学校でできないのか、そういう検討はどのようにやったか、ということも市民にアナウンスする必要があります。これを見ているとそのような部分は一切やっていないです。なにしろ、三浦市学校教育ビジョンありきと捉えられてしまいます。

◇委員 まったくその通りで、「もう決まっていることだよ」と言われる方が非常に多いです。それで委員の言うようになぜ今がダメなのか、今をよくする努力をしてない

のかと思っている人もいます。それで努力をしたけれどもダメだから、このビジョンを進めたいという話は一切、伝わっていませんよね。まったく興味のない人たちにリーフレットを配っても見ませんよ。あと、できるならこの地域協議会の議題資料が届くときに入れてほしいのです。資料を読むのに手一杯です。この資料をみて把握した状態で地域協議会が始まらないとおかしいと思います。

また、三浦市学校教育ビジョンについて良いことは書いてあっても、今の小規模校の取り組みの良い部分は書かれていません。そこまで載っていれば、三崎地区で「学校教育ビジョンも良いけど、今のままでもいいよね」という意見もあるかもしれません。ただ、「これはもう決まっていることでしょ」、「何年か後に始まることでしょ」と思っている方が多い中で、リーフレットを配れば誤解された状態で確信に変わると思えますよ。もし、このリーフレットを正月に全戸に配るか否かを問われたら、私は反対します。何のためにこの地域協議会があるのかなと思います。

◇事務局 このリーフレットをもう少し早く、各委員に届けることができなかつたのかというご指摘についてです。前回の三崎地区の地域協議会で三浦市学校教育ビジョンを多くの人に知らせる必要があること、さらに市民の多くはインターネットを使用していないことも考慮し、紙ベースでコマーシャルした方が良いのではなかというご意見で認識していました。それを踏まえ、短期間でありますが精一杯努力をし、最短でほとんどの市民へ情報を届けることができる方法として三浦市民との同時配布、しかも1月1日号に間に合わせようとした結果です。1週間前には、試作品のような段階で委員の皆さんには事前配布できなかつたことはお詫び申し上げますが、事務局としては最大限、努力したことはご理解いただきたいと思います。

◇委員 最大限の努力をされているのでしょけれども、先程、委員が言ったような小学校が決まらなると話が進められないとしています。そうであるならば、全ての小学校について、想定されることを表すなりしたら良いと思います。いずれ、提示する内容ですし、そこまで事務局にやっていたかかないと疑念を抱きます。

◇事務局 本日、ご説明した案は最初に三浦市の考えに関して協議をお願いするものであり、三崎地区の交通手段については、その時点で考えられる小学校ごとの案をお示ししたいと思っています。こちらをお示したうえで、足りない視点をご指摘いただいて、再検討していきたいと考えています。

◇委員 あと、スクールバスについては中学校の統合のときに京浜急行バスに却下されましたよね。

◇事務局 増発という意味ですか。

◇委員 要するに新規路線は作れないということです。

◇座長 よろしいでしょうか。色々、ご意見が出ていますが、事務局から資料の説明をまずしていただけますか。

◇委員 ちょっとよろしいでしょうか。これも、前提が学校の統合ありきの資料です。後ろのページに「小学校の仮設定終了」などと記載されています。この地域協議会は三浦市学校教育ビジョンを議論する形になっていますが、統合を許可することを議論する場ではないと認識していました。

もし、現在の状況でも学校が存続できる答えがでてくれば。現状の方が良いと思います。例え、地域協議会でそのような回答になった場合です。その場合、素直に三浦市教育委員会に受け止めてもらいたいです。そのような意思を持って私は参加しています。これらのことを見ると、統合ありきで話し合ったことを記録として残したいだけではないでしょうか。

◇事務局 先程の委員の発言、少人数であることのメリット、現状では不可なのか、現在のメリットをさらに見せたほうが良いとのご意見をいただきました。これについてはこの場でご意見をいただいたことを含めて、一定程度、対応をすべきであると考えます。ただし、私どもとしても現状は肯定しています。少人数のメリットを最大限に活かした学校を作り上げていただいていると認識しています。その部分は、市民にもう少し伝えるべきだと捉え、委員から今後もこの体制を踏襲した方が良いというご意見があることを承知しています。しかし、私どもはこの体制ではいずれ立ち行かなくなると考え、この三浦市学校教育ビジョンを作成しました。結果として、地域協議会で否定されるご意見でまともな真摯に受け止めなければならないと思っていますが、まだ、私ども三浦市教育委員会としては小学校を統合し、標準規模の学校にして小中9年間を見とおした一貫教育を行っていくことが必要であると考えています。本日の資料2にご提示したように仮の小学校を選定し、統合したとしたら、どのような教育が行えるのかも議論、検討していただきたいと考えています。

◇委員 教育ビジョンとして一つの形を出していることは良いと思います。しかし、現実問題として実現するには、教員が足りない、少人数だと教員を育てることができないことが原因で統合するという考え方になっています。今、言われたように、今のままで良い、先生方が上手くやってくれているからと聞きます。上手くやっているから、そのままでなくて、その中で三浦市学校教育ビジョンを実現するにはどうしたら良いかという努力がなされていません。このままいくと児童が少なくなり、教員の育成に支障があるから、そのために児童数を増やしたほうが良い、そうしないと教員の経験を確保できない。先輩に物事を聞くことができない、というところで三浦市学校教育ビジョンの統合の部分については先生という形になっています。

◇事務局 三浦市学校教育ビジョンは教員の視点に軸足を置きすぎているではないかというご指摘だと捉えさせていただきます。勿論、教員が力をつけていく、より高みを目指していくためにOJTがあった方が効果的にできると認識しています。教員が減少して

しまうというご指摘がありました。これについては児童数が減少し、結果としてクラス数が減れば、教員数も減少しますが、そこに焦点を当てたわけではございません。あくまで、子どもたちがより質の高い教育、授業を受けるためです。先生と児童がともに授業を作り上げていくために、三浦市学校教育ビジョンの取り組みが必要であると思っています。教員側に偏ったビジョンであると捉えられてしまうのであれば、より丁寧な説明をしていく必要があると思っています。

◇座長 このままですと、他の委員の意見も聞くことができないため、協議を進行いたします。

三浦市教育委員会として三浦市学校教育ビジョンを作ったということは、統合も念頭におきながら進めているわけで、それを地域協議会のなかで議論していくという形だと思います。よって、統合したらどのようなようになるかも含めて議論していく必要があると思います。

資料2の説明をしてください。

◇事務局 はい。今後の地域協議会の進め方ということで考えたものが資料2になります。様々のご懸念をいただいている課題について事務局の考えを最初にお示ししようと思っています。

通学に関する課題については小学校ごとに、明確にできることをお示しするのは難しいですが対策案を出し、検討していくことをお伝えしたいと思っています。

統合後の人数が多くなる、地域との連携に関する課題についてはもう一度、学校の現状などを把握し、学校の再活用などを確認したうえで、三浦市としての考えをご報告したいと思っています。

施設利用に関する課題は全庁的な取り組みになると思っていますので、中々すぐに答えが出るものではございません。庁内関係部局との検討内容について、その時点ごとに提示させていただきます。そのうえで三浦市の取り組みについて、ご指摘、ご提案をいただき、再検討に入りたいと考えています。

色々のご意見をいただきますが、三浦市としては今後、学校の小規模化が進んでしまうと、児童同士の関わり合いや多様な考えに触れることが今より難しくなってしまうため、一定規模化が必要であるという考えに立っています。

そちらに対するご質問も少し必要ですけれども、いま聞きました課題等が今後、三浦市として解決するとしたうえで、委員の皆様には各小学校の条件を比較し、一定規模の小学校として活用するのであれば、この小学校が適しているだろうという大前提のご検討をしていただければと考えております。その後、適している小学校を統合校にした場合の具体的な支援策等をその段階で提示し、それに対して評価をいただきます。そして、約1年の議論で十分であるか、不足している事柄などの考えをお示しいただければと思っています。

継続して検討が必要な場合は時間を費やしてしましますが、そちらについて検討をするなかで、課題に対する取り組みの評価をもとにした活用小学校の選定に対するご意見をいただければと考えております。こちらで決定ではなく、ご意見をいただく形になり



ます。その段階で様々な取り組みが、不足していればそちらに対する継続検討が必要な  
などのご意見をいただくことになるかと想定しています。

その後、地域協議会での取り組みなど、要検討事項が引き続き検討されると思いま  
すが、その段階で意見書をもとにした市の検討に入り、その検討の段階ではパブリックコ  
メントなどをもう一度、実施し、計画を作成することとなりますのでパブリックコメン  
トの実施がございました。

先程、アンケートや市民意見を徴取するといったご意見がございましたが、この段階  
でそういったことも考えることができると思います。中々、こちらとしての部会のお話  
をしないなかで皆様からのご意見をいただくのも、包括的なものになることもあり、教  
育委員会としては再度、この段階でご意見を取ることもできるかと思えます。その後は  
記載のとおりですが、もしもその段階で合意が出来れば交通支援策を決定し、新たな学  
校に関することを決定したいと考えています。

今の地域協議会としての検討案ですが、是非、ご検討いただければと考えています。

◇座長 事務局から今後の地域協議会の進め方について、ずっと続いていきますので案  
として提出されました。

これについては、皆さん一人一人のご意見を聞かなければなりませんので、ご意見を  
伺えればと思います。よろしく願います。

順に今後の地域協議会の進め方について、ご意見を願います。

◇委員 第1回からこの会議に参加していますが、学校教育に携わっていないため広報  
など、客観的に良し悪しを判断していこうと思っていました。しかし、第4回目までき  
て活用小学校の仮設定の議題で、統合ありきではないかという意見が出ること自体、こ  
の地域協議会の明確な方向性が定まっていないと思います。

リーフレットのカラー印刷に関しては、他の委員と共感する部分がありました。表題  
が「1学年3学級の学校をつくります」、「小中一貫教育の学校をつくります」と表現  
してしまうと我々、地域協議会の存在意義がなくなってしまうと思います。統合ありき  
を言い切りでチラシを配布してしまうと困ります。そうではなくて、現状の問題点、先  
生の声、学校運営で上手くいっていること、いっていないこと及び将来の児童数の推移  
などを示した方が保護者の方たちにスムーズに伝えられると思います。このリーフレッ  
トは理想論を語りすぎていて、実際の数値などを入れていただくと分かりやすいと思  
います。

◇委員 統合していくのであろうと考えていました。しかし、よく考えてみると名向小  
学校の統合を反対するご意見も寄せられ、このリーフレットを配布したときに反対して  
いる人たちはどう思うのかなと感じました。また、反対している人たちの意見を  
どこで吸い上げるかということと、例えば交通面などの様々な不確定要素があり、多  
方面で三浦市の本気度を訴えていかないと保護者も不安を抱いています。ですから、岬  
陽小学校、名向小学校、三崎小学校別に統合されたときのプランを示した方が理解され  
やすいと思います。

◇委員 私も第1回からこの会議に参加していますが、名向小学校の存続を求める会、市議会、新聞及びこの地域協議会で出ている課題に関しては議論していく必要があると思います。

私的な意見ですが、子どもたちにとって学校統合や学校教育ビジョンなどを進めることは、自身が子どもならどう思うか考えた場合、例えば10人いないような学校に6年間通うのと適正規模の学校に通うのとでは後者の方が人もいて楽しいと思います。また、親としては、ある程度の人数がいる方が望ましいと思います。時間の関係上、地域協議会では子どもをどうするのかについて、皆さんの意見がまだ出ていなかったと思います。勿論、課題をクリアしなければ統合ありきで話を進めることについては、やり方を考えていくべきだと思います。子どもたちにとってどうなのか考えると、これから統廃合を決めていく一つの要素であると考えています。

◇委員 三浦市学校教育ビジョンそのものが反対と言っているわけではありません。一方で、周知の仕方、意見の吸い上げ方等々が全く良くないと思います。何か聞かれたときの説明の準備ができていないと思います。今回、名向小学校の存続を求める会の資料にでていますが、どちらの小学校の代表も自身の学校では三浦市学校教育ビジョンについてどのように思われているか、アンケートなどをおそらく取っていないと思われます。そうすると、これらのことに関係してこない子どもがいる世代の方に統廃合を進める意見を個人で語りすぎて良いのかと思うと同時に、それぞれの学校で保護者がどのように思っているのか、どのような質問があるか吸い上げたうえで代表として、参加したい気持ちもあります。ただ、色々な意見を聞くのが近い人になるため、意見が偏ってしまいます。よって、学校単位でアンケートをとってみるのもありだと思います。

また、仮に統合が決まったとしても、過去に中学校の統合のときのような負担を保護者の皆さんに背負わせるのは酷だと思います。中学校の統合は三崎地区のPTAや地域の繋がりがあって実現できました。ただ、負担は相当なものであり、様々な方の力をどれだけ借りられるかが重要になってきます。

◇委員 一保護者として、もし、自身の子どもが関わることになる立場に立って考えると、現状では多くの児童は近くにある小学校に通うことができ、家庭の生活スタイルも確立していると思います。しかし、今後、子どもの人数が減少していき、3年、4年、それ以上の5年、10年後の将来を見据えると、小学校の統合は必要なことだと思います。それに対して、現状、多くの課題が残っているなか、進め方が速い気がします。例えば一つ一つ、人数の少ない小学校をどうしていくか考えることです。また、統合した場合、親が送迎している家庭もありますが、1便だけのスクールバスの運行で安全に子どもたちを通わせられるか、乗り遅れたときはどのように登校するのか、習い事をしている児童が多いため帰宅時間の弊害をどうするか、不審者などの不安など多々あります。さらに、新型コロナウイルスの問題で6時間授業では14時45分に下校になっていると思います。今後、通常の授業時間に戻ったとき、6時間授業では15時25分に下校となり、今は学校が近くであるがゆえに成り立っている生活が、遠方の学校となってしまうと生

活面で失われることが多くでてくると思います。ごく一部の意見ですが、これらのことに関して、あくまでも主役は子どもたちであり、そこに携わる家族の方、地域の方のことを考慮し、安全性から不測の事態まで真剣に検討しなければならないことだと思います。

◇委員 子どもたちに身につけさせたい学力、力のことを考えたときに、これ以上、子どもが少なくなっていったら、教員だけの努力では追いつかない部分があると思います。行政の手が入らないとやり切れないところがあります。

知識の詰め込みだけなら少人数で良いと思います。しかし、学んだことをどう活かしていくかというときに同じ人だけではなく、多様な意見に触れる場は必要だと思います。

加えて、学力だけの問題ではなく運動面にしても協力、競争、目指す対象人物が多くいる方が良いと思います。いずれにしても、何かしらの手立ては打たなければならないと思います。統合が最善かどうか分かりませんが、教員、地域の方々と協力しておこなっていくことにも限界があり、それについて議論していくなかで三浦市学校教育ビジョンは素案としてあったほうが良いと思います。このことから、色々と考えなければならないことが山積していますが、保護者の方、地域の方、現場の教員がどう思っているか聞いたうえで議論を進めていくべきだと思います。

私も統合ありきで進んでいること、教員のためのプロジェクトだとは思っておりません。予想ができない未来のことを考えると、現状と同じ教育は行っていけないと思います。三浦市の子どもたちにどのような力を付けさせたいか、どのように育てていきたいかを念頭に、できるだけ意見を出していきたいです。その達成方法が、統合なのか別の方法なのか分かりませんが、個人的にはそういう議論ができる場に出ることが嬉しいです。

◇委員 先程、他の委員が言われたことと重複しますが、学校の統合とかではなく三浦市学校教育ビジョンの目指すところ、子どもたちをこのように育てていきたいということは良いと思います。ただ、その目的は統合しなければできないのかという部分が疑問です。そして、教育というのは学校と地域と家庭、3つが上手くバランスを取れて進んでいくものだと思います。今の状態だと、おそらく学校に集まるから子どもたちが学校にいる間は良いですが、家庭にいる時間が少なくなってしまう、塾などの習い事に行く時間もなくなってしまう、親と遊ぶ時間もなくなってしまう、さらに帰宅後の地域との繋がりもなくなってしまう。統合小学校に近い家庭は問題ありませんが、バスを使用したりすると地域を素通りすることになります。その部分で地域に対してどのような考え方ははっきりしていません。それこそ小学校の統合ありきで進んでしまい、地域の問題のことは後から付け足しで進んでいくようなかたちになってしまうと思います。また、小中一貫というかたちの学校と謳われていますが、小学校6年間、中学校3年間というのは多くの友人と進学するため、大人になっても一番、記憶に残るものです。その観点から、思い出の小学校が途中でなくなってしまうのは子どもにとって良いことなのかと思う所もあります。

統合しなくても、こういう手を打てば目的は達成できるのではないかという部分がも

う少しあっても良いと思います。

◇委員　まず、区長会などで一般市民の意見を聞いていますが、地域協議会での意見を聞いておきますと、子どものことをよく考えているなど感心しました。次に他の委員と同感で学校の統合が先走っていると思います。欲を言えば、皆さんの出身校である各小学校が残ること望みますが、日本全国をみると小学校、中学校の統合が散見され統合も検討せざるを得ないと思います。皆さんで意見を出し合い、上手くやっていたら良いと思います。色々な意見が出ていますが、地域協議会の委員だけではなく、多くの有識者の方を招けば素晴らしい意見が出るかもしれません。また、地域や交通の問題でも様々な意見を聞きながら解決していったら良いと思います。地域協議会の回数を重ねていますが、膠着状態で進んでいるようです。今後は一つ一つ、意見を交えて解決していったらいいと思います。

◇委員　他の委員も述べていましたが、三浦市学校教育ビジョンを進めたいならば具体策がなければ話が進まないと思います。

今後の地域協議会の案ということで示していただきましたが、交通支援策や施設利用をどうするか案を出していただかないとイメージが湧きません。また、仮選定をするにしても基準や築年数、耐震化の有無などの情報がなければ、急に決めてくださいと言われても、選ぶ側は困ってしまいます。そういった情報がないと、感情論が優位になり出身校や自身の子どもの通う小学校を推すことになってしまいます。ある程度、基準があれば選定のときに致し方ないと判断ができると思います。繰り返しになりますが、具体策など、決まった後から提示するのではなく今の段階で示すべきです。

◇委員　様々なご意見をいただきまして、同意できる点が多いです。現在、三浦市には小学校は8校あり、そのうちの5校が単級です。また、2つの小学校がかろうじて8か9学級です。各校、現状でできることはやっていると思います。ですから、小規模校でも上手くいっていると思います。一方で補えない部分もあります。例えば子どもの交流面で異学年交流は大規模校でも小規模校でも可能であり、初声小学校で4クラスあったときもやっていましたが年齢が違い、あくまでも異学年交流で限界があります。年齢が違い、同学年の子どもと中々、交流ができない限界があると小規模校の教員ならば誰しも感じていると思います。当然、少人数でも同学年の交流がありますが、相手の考えがある程度、読める人同士になってしまいます。そうすると、多様な考えが出にくくなってしまいます。ただし、そこで甘んじてはいけないことは分かっていますが、意見を出させなくてははいけないこともあります。そのときに、なかなか教員に力をつけきれないところが、教員として感じています。ただ、そのためにはOJTが最も良い方法だろうと考えています。ましてや小規模校になってきて、他の委員が述べていたように、大きな学校でも、小さな学校でもやる仕事数は変わりません。6年生の担任になると修学旅行、卒業式、卒業集会、運動会のリーダーもやらなければなりません。そして、様々なPTA会長がいらっしゃいますが、働き方改革と言われるくらい教員は忙しくなっています。できるだけ子どもに向き合う時間を確保したいですが、そのためには夜遅くまで

残らなければならないことができています。

35 人学級と言われていましたが、今あるクラスの人数を統合させても実質、教員は増えません。ただ、現状では教員は活動し、小規模校でもいい教育ができています。それを活かしながら、子ども同士のふれあいを一層増やし、教員の力も付けていくことが必要だと思います。しかし、今まで言っていたように様々な課題があるのは承知しています。他の委員がおっしゃっていたように地域の問題では、子どもは地域で育つ面もありますが、地域を通して学ぶというのが今の子どもたちであり学校だと思います。勿論、地域も学びますが、地域を通して力をつけていて、そここのところを置いてきぼりにしているわけではありません。子どもが安全に通学できるのは地域に顔が売れているからだと思います。より良い教育、子どもたちの成長のために何が良いか、皆さんで知恵を出し合っていくことが必要だと思います。

◇座長 全ての委員に意見を言ってもらいましたが、地域協議会の進め方で事務局から何かありますか。

◇事務局 様々な課題について、今後、統合しなくても小規模校で何かできることはないかの考えを地域協議会で示すこと、また、地域との課題、そういったことを今日お示しした第一段階として事務局が用意、ご提示し、その上で協議を進めていただくことが必要だと考えています。諸々の課題も多く、1回で全ての情報をお示しすることは難しく、少々お時間をいただくことになると思います。いずれにしても、まずはこちらについてご用意した内容で協議をお願いする進め方にしたいと考えていますが、いかがでしょうか。

◇座長 いかがでしょうか。今、皆さんからご意見をいただいて、色々な課題があると思いますが、現状のままではいけないと思っていますし、反対されている方もいます。委員もおっしゃっていましたが、学校の統合には大きな労力を要し、大変であることは分かっています。しかし、将来的なことを考えると、現状のままではむしろ厳しいと思いますし、このままではいけないです。そのあたりも踏まえて、様々な課題を解決していかなければならないというご意見をいただいて感じました。

他地区では段階を踏んで統合してはどうかというご意見も出たそうですが、それについては統合を2度行わなければならなくなり、労力は多大なものになるため避けた方が良いと思います。そういう内容も含め話を進めていければ良いと思いました。

他の方、ご意見ございますか。

◇委員 このリーフレットはどうしますか。

◇事務局 初回の地域協議会の際に、最終的な責任を負うのは三浦市教育委員会、三浦市であります。地域協議会の皆さんには攻撃対象の矢面に立たせてはならないと、言葉では踏み込んでいみせんでしたが、責任を持つのは事務局だと思っています。その意味で三浦市学校教育ビジョンを少しでも三浦市教育委員会の思いを含めて、知らせること

については地域協議会が発行するものではございません。説明会での意見は Q&A として出させていただいていますが、ここはあくまでも三浦市教育委員会が作成したものであり、是非、配布させていただきたいです。本来であれば議論を始めたと同時に、早い段階でやらなければならなかったことだと考えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

◇委員 このリーフレットは発行するということですね。

◇事務局 はい。

◇委員 では、例えばこのリーフレットを発行するにあたって「これは決定事項ではありません」、「三浦市教育委員会としての教育ビジョンです」、「ご覧になって疑義がある人は三浦市教育委員会にお問い合わせください」などと付け加えないと決定事項としてしか見えません。

◇委員 決まっていることと思われてしまいますね。

◇委員 「このことについて地域協議会で議論しています」という一文なども載せないと、本当に決定事項と思われてしまいますよ。

◇委員 三浦市教育委員会が責任を持つと言っていますが、短絡的です。

◇事務局 南下浦地区の地域協議会でも言われていますが、最終ページにその旨が記載されています。

◇委員 このチラシを受け取った人は冒頭のページを見て、決定事項だと思い込む可能性が高いと言っているのです。最終ページの記載など一部の人がしか読み進めません。正直言って、リーフレットの作成の仕方が悪いです。ですから、早く資料を配ってほしいと述べたのです。私だけが懸念しているだけなら問題ありませんが、他の委員の皆さんにも受け取った瞬間にどう思ったか聞いてみてください。

◇座長 事務局としていかがですか。

◇事務局 委員からご指摘されたことについて、おっしゃるとおりだと思部分もあります。しかし、こちらは発行させていただきたいです。

今後は準備をなるべく早くし、何かを行う際にはできる限りご意見を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

◇委員 決定事項の輪を広げようとしているのではないですか。

◇事務局　　そういう意図で作成したつもりは全くございません。三浦市学校教育ビジョンの掲げることを広く伝える必要があるというご指摘がありましたので、取り組んだ次第です。

◇委員　　おそらく予算的な部分があるかとは思いますが、全戸分ですね。このリーフレットを仮に学校で配れと言われれば説明に困るなど思いました。  
そしたら補足の旨を記載した紙を1枚挟むのはどうでしょうか。

◇委員　　三浦市民と一緒に配るのですか。地域によってですか。

◇事務局　　三浦市民の配布と合わせた全戸配布です。

◇座長　　全戸ですから全家庭です。

◇事務局　　区長会通送と呼ばれているものです。

◇座長　　各地区の自治会を通して配るものですよ。

◇事務局　　一部届かないお宅もあり、完全に全戸ではありませんが、三浦市民が届いている家庭には、このリーフレットは配布されます。

◇委員　　そうしたら、より一般の人から「これらのことは決定したのか」と言われてしまいますよね。

◇事務局　　そのように感じる方もいらっしゃるかもしれません。ただ、よく見ていただければ、そうではない部分もあると思われれます。そこはご理解いただきたいと思います。

◇委員　　正直言って、それはリーフレットを全て熟読した人で、かつ他に三浦市教育ビジョンを理解している人に質問できる環境下の人であれば正しく認識するでしょう。

◇委員　　中間報告みたいになってしまっていますね。

◇委員　　おそらく、この地域協議会の存在意義は三浦市教育委員会のみで物事を決定するプロセスを取ってしまうと、多方面から反発が出る可能性があるため、まずは様々なコミュニティの代表を集めて話し合っていくことですよ。そして意見を出し合い、落としどころを決め、反対意見や課題を可能な限り最小限にするためですよ。よって、このリーフレットをそのまま配布してしまうと、地域協議会の意味がなくなってしまう。日本語は難しいですが、「つくります」という表現を「つくる必要があると考えています」などの方が、今の状況であれば分かります。しかし、言い切りで表現してしまうと、この地域協議会の人数でも指摘が出ていることから、市民から相当、指摘され

てしまうと思います。

◇事務局 先程、委員からのご提案で、リーフレットの中に注意書きの紙を挟もうと思います。

◇委員 リーフレットの配布時期を遅らせれば良いと思います。

◇委員 印刷をしてしまっているのならば、追加で注意書きの紙を差し込んでいただく方が良いと個人的には思います。

◇座長 では、そういう形で作を進めていただければと思います。

◇座長 それでは、協議会を進めたいと思います。今日につきましては、これで意見交換を終了させていただきます  
それでは、次回の地域協議会の事務連絡をお願いします。

◇事務局 次回の事務連絡の前に今後の協議について、様々な課題があります。当初、予定していた令和3年3月までに何らかの結論を出すということは困難な状況であると考えており、この地域協議会は年度を跨いでも開催すると思います。皆様、お忙しい中、また来年度、区長、PTA 会長が交代になる可能性もございますが、事務局からのお願いとして、来年度も皆様に地域協議会の委員となっていただきたく存じます。

◇委員 PTA 会長が変わった場合、新旧の2人で出席するのですか。

◇座長 違います。委員のお子さんが学校を卒業し PTA でなくなった場合や地区の区長ではなくなった場合も肩書を変えて、引き続きこの人員で協議をお願いしたいということですね。

◇事務局 はい。この人員でお願いしたいということです。退職する先生にも是非、参加いただきたいです。

◇委員 立場もありますから、次に PTA 会長や地区の区長になる方の確認を取ってからの方が良いですね。

◇座長 よろしいですか。

◇事務局 最後に事務連絡です。次回の地域協議会は令和3年1月25日(月)を予定しています。先程、ご指摘がありました資料をできるだけ多く整え、必要となる一部の情報になってしまうかもしれませんが、その場合には準備ができた資料で協議をお願いしたいと思います。場所は同様に市民交流センターです。



よろしくお願いいたします。

◇委員 何かの問題で、例えば避難所の問題、学童保育の問題など、どこまで話し合いが進んでいるか否かについて、多少、示していただかないと、毎回、検討しているでは話が見えてきません。

◇座長 他によろしいでしょうか。

(特に発言なし)

◇座長 それでは以上で第4回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区）を閉会致します。お忙しい中、ありがとうございました。

◇ 20時20分 閉会 ◇